

忠臣義士
高名競

坂垣源藏
重賢

既小義士の面々ハ
入乱と闘戦を
坂垣ハ十分の酒氣を帯て
勢ハ猛虎の荒言如く奥の間へ馳
入んとす所へ守伴右門と自捕掛巻直小
繫之係と心得すと渡り合息をも兼ね
修練の割排戦ハ僅十餘合項を臨で
下と擲寛ハ連々を伴右門ハ左りの
肩より切込と續く血と共侶ハ一声
苦と叫も果を脚空さす小斤斗
撲地倒て平張ハ天晴美ま
刀のさえと義士等ハ答て打連豆
猶奥の間へ敵を目係殺劣トと走行けり

應需 一筆芥誌



一國廿方画

守伴右門